

社会資本整備審議会 道路分科会  
第3回 東北・北陸地方合同小委員会

議事要旨

1. 日 時 平成 25 年 4 月 23 日（火） 13:00～14:30
2. 場 所 北陸地方整備局 新潟国道事務所 B棟 大会議室
3. 出席者

[委員長]

まるやま きゅういち  
丸山 久一 長岡技術科学大学 環境・建設系 教授

[東北委員] 敬称略・五十音順

かがや そういち  
加賀谷 聡一 酒田商工会議所青年部 会員  
((株)酒田港リサイクル産業センター 代表取締役)

ふくさく まさゆき  
福迫 昌之 東日本国際大学 経済情報学部長 教授

[北陸委員] 敬称略・五十音順

おおかわ ひでお  
大川 秀雄 新潟大学 工学部 建設学科 教授  
さの かずし  
佐野 可寸志 長岡技術科学大学 環境・建設系 准教授  
なかやま しょういちろう  
中山 晶一朗 金沢大学 理工研究域 環境デザイン学系 准教授  
まるやま ゆか  
丸山 結香 (有)MAX・ZEN Performance Consultants 代表取締役

4. 議 事 内 容

(1) 挨拶

- ・北陸地方整備局長

(2) 議題

- ・平成25年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価について

(3) 審議結果

- ・平成25年度新規事業候補箇所の新規採択時評価について事務局より説明があり、慎重審議の結果、原案は妥当との意見を頂いた。

#### (4) 議事要旨

- ・当該道路の周辺地域は、脆弱な道路ネットワークしかないことから、災害や交通事故、救命救急の面でリスクを抱えており、当該道路の整備は特に「命の安全」を担保出来るという点で重要な意味があると考えます。
- ・国際競争力を高めるためには、新潟港、秋田港、酒田港を連絡する道路ネットワークを構築することが重要と考えます。
- ・産業面や国際競争力の面で、国全体に効果が波及するメリットがある。
- ・産業面から見ると供給源を絶たれることが一番のネックであり、産業が高度化されるほど供給源から工場までの確実な輸送路の確保が必須条件になる。災害に強い安定した輸送路が出来ることによって、将来的に重要な工場の立地が期待される。
- ・B/Cで評価出来ない防災面の観点からも評価されており、耐災害性を高めた道路を早急に整備することが望まれる。
- ・観光面や地域の生活面など、B/Cでは測れない多くのメリットがあると考えます。
- ・地域の観光振興やコンテナ貨物の運送の面から休憩施設の整備を検討していく必要があると考えます。
- ・日本海沿岸東北自動車道の遊佐～象潟間と合わせ、未事業化区間が整備されることは重要と考えます。
- ・インターチェンジ毎など、出来たところから早く供用し、少しでも効果を挙げることを重要と考えます。
- ・急勾配が多いので追い越し車線を検討していただきたい。